

令和6年度「熊本の学び」研究指定校事業 事業実績報告書

1 研究の内容

授業力向上 (○) ・ 道徳教育 (○) ・ キャリア教育 (○) ・ 特別活動 ()
カリキュラム・マネジメント () ・ その他 () (内容:)

2 学校の概要

(単位:人)

プロジェクト校	児童生徒数	教員数	校長名	研究主任名
甲佐町立甲佐中学校	294・13学級	24	大塚 芳生	酒井 健太郎

3 研究主題

生徒も教師も楽しい授業の創造
～学びに向かう力や人間性向上を目指した取組を通して～

4 研究主題設定の理由

本校の課題は、学力が定着していない生徒が多く見られることである。諸学力調査の結果を見ると、基礎的・基本的な内容について、県平均と比べて大きく差がある。これは学習意欲の低さが大きく影響していると考えられる。授業や家庭学習において受け身の学習姿勢の生徒や、自ら課題設定したり計画したりする力が身につけていない状況が見られる。

また、進路に対する関心が低いため、安易に高校を選択したり、自分の進路に対して展望がもてなかつたりして、学校生活や学業への関心・意欲が低くなつたりする現状がある。

以上の課題をふまえ、学力の個人差に関わらず、すべての生徒が学ぶ楽しさを実感し、学校生活の充実や将来への希望につながることを目指して本研究主題を設定した。

5 研究の具体的な取組内容の実際

研究主題の具現化のために、本研究では3つの部会を設定し、相互に連携し合う研究・実践を目指す。

学びに向かう部会

- ・ 生徒も教師も意欲的になる授業づくり
(楽しい、面白い、ワクワク、ドキドキ、次もやってみたい)
- ・ 「分かった」・「できた」を感じさせる終末の工夫

道徳部会

- ・ 道徳授業での板書の構造化 (導入、展開、終末)
- ・ 振り返りのDX化

人間関係づくり部会

- ・ 人間関係形成能力や非認知能力の育成のためのSSTやセルフストレスチェックの実践

6 目指す成果【検証方法】

- 生徒も教師も「楽しい」、「夢中になる」授業が行われている。
- すべての生徒が生き生きと学校生活を送り、幸せを実感している。
【 公開授業や授業研究会、生徒・教師・保護者アンケート 等 】

7 研究実施の実際

時 期 (月)	実施内容
4 月	・ 研究の方向性の共通理解 ・ 研究主題、研究組織、仮説等の決定
5 月～6 月	・ 研究協力者の熊本大学高崎先生による授業参観および校内研修への協力 ・ 研究組織（部会）での取組検討 ・ 各教科や各担任での授業実践
7 月～8 月	・ 1 学期の反省と 2 学期に向けて ・ 理論研修およびワークショップ ・ 諸学力学習状況調査結果やアンケート結果の検証
9 月～11 月	・ 公開授業および授業研究会 ・ 理論研修およびワークショップ ・ 研究協力者の熊本大学高崎先生による授業参観および校内研修への協力 ・ 各教科や各担任、各部会での授業実践
12 月～1 月	・ 2 学期の反省と 3 学期に向けて ・ 中間発表会への準備、学習構想案の検討 ・ 諸学力学習状況調査結果やアンケート結果の検証
2 月～3 月	・ 中間発表会（授業公開） ・ 今年度の反省および来年度への志向

8 市町村教育委員会の取組の実際

- ・ 甲佐町学力向上対策会議（参加者：教育長、各校長、教育委員会事務局）を年 2 回行い、学力向上を目指した。
- ・ 教育委員会学校教育指導主事の授業参観及び指導を行った。
- ・ 令和 6・7 年度の 2 年間で町学力充実研究推進指定校として甲佐中学校を指定し、予算をつけて学力向上の取組を支援した。
- ・ 町学力調査を実施し、全国、熊本県学力・学習状況調査と併せて、結果を分析し、対策について学校と共通理解を図った。

9 研究の成果【検証方法】

- 教師側の授業づくりに対する意識が変化し、生徒が楽しい授業にするために、これまで以上に工夫した授業実践ができた。新しい手法に挑戦する教師や、不慣れな ICT 機器を活用する教師の姿が見られた。【相互授業参観週間の様子】
- 道徳部会や人間関係づくり部会の取組により、生徒と教師が一緒になって活動する中で、相手の気持ちを考えたり、人間関係づくりスキルを学んだりする機会が設定できた。温かい雰囲気や優しい言葉遣いの中で、充実した時間が過ごせていた。

【生徒や教師の感想】

1 0 研究の課題と今後の展望

- 「楽しい授業」とは何かを、生徒や教師の側から再度見つめ直したい。アンケートを実施して、どんな授業が「楽しい授業」なのかを検証していきたい。それを受けて授業スタイルや部会の共通実践の見直しを行いたい。
- 今年度は、数値的な検証が十分ではなかったなので、来年度は非認知能力の向上を目指して、P D C A 検証サイクルを更に意識した研究にしていきたい。

1 1 研究成果の普及

- 公開授業への本町4小学校からの参加
- 研究内容をHPに掲載